



コミュニケーション



情報開示・情報収集.....	42
社員教育・その他.....	44

1. 情報開示・情報収集

<http://www.ntt.co.jp/kankyō/2000report/5/511.html>

環境に関する受賞

環境保全に関わるNTTグループの活動が、関係機関から評価され、いくつかの賞を受賞しています。

1999年度の受賞内容は表5.1-1のとおりです。

表5.1-1 環境に関する受賞

受賞名	主催者	受賞者
省エネルギー優秀事例全国大会 「資源エネルギー庁長官賞」	(財)省エネルギーセンター	NTT(持株会社)
第19回緑の都市賞	(財)都市緑化基金・読売新聞社	NTT武蔵野研究開発センタ
第9回環境広告コンクール 「ポスター部門特別賞」	日本エコライフセンター ・日本経済新聞社	NTTドコモ
第26回日本冷凍空調学会 「技術賞」	(社)日本冷凍空調学会	NTTファシリティーズ
水晶振動子式センサによる ppbレベルの石油流分ガスの検出	日本環境化学会	生活環境研究所

表5.1-2 地球環境保護表彰(社長表彰)

実施会社名	受賞件名	事業所等名
NTT(持株会社)	電話帳等古紙のリサイクル新素材MPMを使った水浄化材の開発	情報流通基盤総合研究所
NTT西日本	ISO14001の認証取得に関する功績	小松支店(当時)

地球環境保護表彰

NTTグループの各社において、社長表彰を実施しています。1999年度の地球環境保護表彰(社長表彰)については、表5.1-2のように2社で実施しました。

NTT技術ジャーナル

NTT技術ジャーナルでは、随時環境保護推進活動の特集を組んで社員に紹介しています。

1999年11月号では、「エミッション時代の新エネルギー事情」として、情報流通の分野においても本格化し始めた、エネルギー対策や大気汚染防止、廃棄物削減、リサイクルなど、環境配慮型社会の構築に向けた動きについて、紹介しました。



写真5.1-1 NTT技術ジャーナル



1. 情報開示・情報収集

環境goo

NTT-Xが運営する環境gooは、環境情報特化型のポータルサイトです。1999年8月4日に21世紀の環境コミュニケーションと環境ビジネスを支えるための情報発信・検索サイトとして、スタートしました。



図5.1-1 環境gooトップページ

<http://eco.goo.ne.jp>

環境gooには次の様な特徴があります。

国内トップクラスのポータルサイトgooと同じ技術を備えた検索エンジン「環境gooサーチ」

最新情報をお届けする「環境gooニュース」
環境対応に取り組む企業をバックアップする「環境gooビジネス」

企業やNGO、一般消費者の情報交流の場である「環境gooコミュニケーション広場」
サイト開設当時、1ヶ月あたり28万PV（ページビュー：アクセス数の単位）だったアクセス数も、2000年3月には100万PVを突破しました。また同時に提供している環境情報の個人メール会員は2万人です。

環境gooの取り組みの一つとして、2000年6月には「NGOと企業のパートナーシップを考える」シンポジウムを企画しました。環境gooでは今後も、消費者と企業、NGOの情報交流の仕組みづくりを通じて、地球環境を守る取り組みを

さまざまな面からサポートし、「持続可能な社会づくり」の一翼を担うべく貢献していきます。

環境ホームページ

1995年に「地球共生テレコミュニケーションNTT」として公開し、「NTTグループ環境保護活動報告書1999」の発行に伴い、2000年2月に「NTTグループ地球環境憲章」と合わせて、環境ホームページとして内容を更新しました。また、環境ホームページでは、英語版も作成し、海外にも情報発信しています。



図5.1-2 環境ホームページ

<http://www.ntt.co.jp/kankyô/index.html>

ワールド・バード・カウント

NTT-MEでは、1999年10月1日～31日に、世界最大のバードウォッチング大会「第5回NTT-MEワールド・バード・カウント」以下WBCを開催しました。この催しは、自然環境保護に対して最も指標となる世界中の野鳥を、世界中で一斉に観察することによって自然保護および自然の大切さをアピールすることを目的としています。



写真5.1-2 第5回NTT-MEワールド・バード・カウント告知ポスター

第5回大会では「身近な鳥を見つけよう」をテーマに、期間中に世界各地で観察された野鳥の名前などを、インターネット、電子メール、ファックス、電話などマルチメディアを駆使してたくさんの方に報告していただきました。第5回大会の結果は次の通りです。

参加した国と地域	99
参加人数	192,482人
報告種類	5,560種

結果はワールド・バード・カウント・ホームページにも掲載しています。

なお、第3回大会は、88の国と地域から

<http://www.wnn.or.jp/wbc/>

183,476人の方が参加し5,935種の鳥が報告され、世界最大のバードウォッチング大会としてギネスブックに掲載されています。

また、NTT-MEでは報告された鳥1種類につき1000円を、500万円を限度として国際野鳥類保護団体のバード・ライフ・インターナショナルに寄付しています。この寄付金は、世界最大級の自然環境データベースの開発計画に活用されています。

NTT-MEは、情報流通のインフラを活かしたヒューマンネットワークづくりを実践し、環境の保護、自然との調和などを考えながら、今後もこの取り組みを継続していく予定です。

2. 社員教育・その他

<http://www.ntt.co.jp/kankyo/2000report/5/521.html>

NTTグループでは、社員一人一人が環境保護活動への認識を深め、環境への意識向上を図れるように社内誌やセミナーなどを通じて環境教育を実施しています。

環境マネジメントシステム構築のために ～ISO14001取得奮戦記～

NTTグループでは、ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムの構築を推進することを目的に、1997年8月からモデル事業所を選定し、全国的な展開を行っています。これまでの環境マネジメントシステム構築事例や現在構築に向け奮闘している事例、NTTグループの環境保護推進活動、環境マネジメントシステムに関する資料をとりまとめ、1999年6月に環境マネジメントシステム構築に向けた社内参考資料として全社員を対象に配付しました。



写真5.2-1 環境マネジメントシステム構築のために
～ISO14001取得奮戦記～

環境パンフレット NTTグループ・エコロジー・プログラム21

NTTグループでは、グループの環境保護推進活動に取り組む21世紀に向けた新しいコンセプト「NTTグループ・エコロジー・プログラム21」を紹介するパンフレットをNTTグループ全社員に配付しました。

このパンフレットでは、経営トップとして宮津NTT(株式会社)社長が、環境への思いと、NTTグループの今後の進むべき方向について語っています。

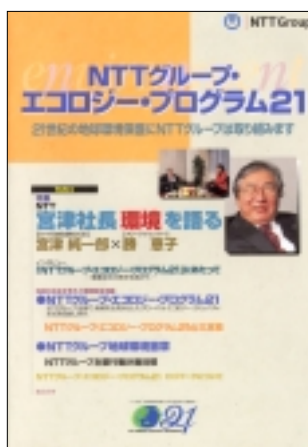


写真5.2-2 NTTグループ・エコロジー・プログラム21 パンフレット

環境報告書の発行

NTTグループとして初めての環境報告書を1999年12月に発行しました。この「NTTグループ環境保護活動報告書1999」は主として1998年度の環境保護推進活動を記載しています。



写真5.2-3 NTTグループ環境保護活動報告書1999 (日本語版 / 英語版)

社外との連携

NTTグループは、地球環境保護活動を行っている各種団体等へ加入・支援・協力等を行っています。

現在の加入・協力等の状況は、次のとおりです。

表5.2-1 地球環境保護活動においてNTTグループが連携する各種団体

団体名	活動概要
グリーン購入ネットワーク Green Purchasing Network (GPN)	グリーン購入の取り組みを促進するために1996年に設立されました。環境への負荷が少ない製品やサービスの優先的購入を進める消費者・企業・行政の全国ネットワークとして活動を行っています。
経団連自然保護基金運営協議会	内外の自然保護NGOが実施する開発途上国における自然保護プロジェクトへの支援を積極的に行っています。また国際的な自然保護活動に携わるわが国の人材の育成、また自然保護活動への理解を深めるためのセミナー開催などさまざまな活動を推進しています。
持続可能な発展のための世界経済人会議 World Business Council for Sustainable Development(WBCSD)	1995年に設立したWBCSD(World Business Council for Sustainable Development)は、世界の環境先進企業、約150社のトップレベルで構成され、産業界全体における環境への取り組みの向上や、「経済効率性」の概念に「環境効率性」を付加することを提唱するなど、持続可能な発展のための提言や活動を行っています。
地球環境行動会議 Global Environmental Action(GEA)	1991年、地球環境問題の解決と持続可能な開発に貢献することを目的に発足したNGOです。1999年には、地球環境と持続可能な開発分野における国際社会への長年にわたる貢献が高く評価され、団体として国連環境計画(UNEP)からグローバル500賞を授与されました。
(財)地球・人間環境フォーラム Global Environmental Forum(GEF)	環境問題に関する科学的な調査研究や政策研究に取り組み、さまざまな研究成果や内外の環境情報を発信しています。また、環境保全活動への支援や国際環境協力を幅広く展開しながら、環境問題に関わる多くの人々・機関とのネットワークを広げています。
(社)日本環境教育フォーラム Japan Environmental Education Forum(J.E.E.F)	1987年「清里フォーラム」として発足し、1997年現名称となりました。環境教育普及のため、自然学校の普及、市民のための公開講座の開催、途上国支援などを行っています。